

D 48 婦人乗馬服について (第2報)

大妻女大家政 ○大網美代子 石井とめ子

目的 鍋島栄子夫人(佐賀11代佐賀藩主 鍋島直大公夫人)の横乗り乗馬服については本大会においてすでに発表をしたが、以来、続いて関連の資料を調べており、今回はそのうちから19世紀の西欧の横乗り乗馬服について特色のあるスカートをとりあげ、その構成並びにシルエット表現について研究した。

方法 資料より数種のパターンを試作して立体的になった場合にどのようなシルエット表現になるか、その構成法について考察した。

結果 横乗りという特殊な機能に適應させるために作られたスカートには、右膝を鞍頭の上に乗せるため、スカートの右と左では型が違い、膝頭に合わせる裁断法は極めて複雑である。少しでも横鞍の乗り心地をよくするために、さまざまな工夫が凝らされ、自由な発想で仕立てられていた事が判明した。

(第35回年次大会に発表した”婦人乗馬服について”を第1報とする。)